

施設評価シート（一般）

031

（平成21年度事業）

施設名	リフレセンターびぜん		問合先	担当課(室)	商工観光課
			職・氏名	参事 貞友 武典	
所在地	備前市伊部2264番地2		電話	0869-64-1832	
			所属長職・氏名	課長 川邊 亘	
建物建設費	300,000 千円	財源	このシート作成に要した時間	3.0 時間	
		国県等補助金	297,831 千円	建設年月	平成 3 年 10 月
		市債・一般財源等	2,169 千円	耐用年数	50 年

根拠法令等の有無	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	名称		
総合計画上の位置付け	基本目標 04	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	基本施策 02	起業と創造が支えるまちづくり
	施策 05	勤労者福祉	事務事業名 01	勤労者施設管理運営事業

対象	（この施設運営によりサービスを受けるのは誰か？） 市民及び市内勤労者		
目的	（この施設運営によってどのような状態を目指しているのか？） 市民及び市内勤労者に文化、研修、スポーツ等の活動の場を提供することにより勤労者の福祉増進に寄与することを目的とする。		
施設内容	施設内容	規模	料金体系(直近の改定:平成 年 月)
	鉄筋コンクリート造平屋建	延床面積 1178.24㎡	
規模	体育室	445.5㎡	3,000円～4,000円/1時間
	会議室	91.4㎡	800円～1,200円/1時間
	教養文化室	82.9㎡	800円～1,200円/1時間
	実習室	69.7㎡	500円～800円/1時間
料金体系			
管理運営方法	<input checked="" type="radio"/> 指定管理者制度導入 (指定管理者名 又は 一部委託の内容) <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> すべて直営 備前市施設管理公社		
類似施設の状況	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし (施設名及び施設の概要) <input checked="" type="checkbox"/> 本市所管 <input type="checkbox"/> 近隣市町、民間その他 備前市勤労者センター		

経費	項目	平成19年度実績		平成20年度実績		平成21年度実績		単位
	人件費	正規職員	0.1 人	1,081	0.0 人	0	0.0 人	162
臨時職員								人/千円
費	指定管理料		13,835		13,835		12,500	千円
	維持補修費		0		0		0	千円
	物件費		291		139		47	千円
	その他( )		0		0		0	千円
	減価償却費		39		39		39	千円
	合計		15,246		14,013		12,748	千円
財源	特定財源		0		0		0	千円
	使用料 その他		0		0		0	千円
	一般財源		15,246		14,013		12,748	千円
	指定管理者の利用料金収入等		(2,388)		(2,168)		(1,912)	千円
	年間利用者数		42,509		43,987		41,414	人
	利用者1人当たりコスト(一般財源)		359		319		308	円
	受益者負担率		13.5%		13.4%		13.0%	%

稼働実績	平成21年度 (単位:日・人)													
	種別\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	開館日数	25	24	25	26	26	23	26	23	22	22	23	25	290
	利用者数	2,404	2,607	2,616	2,926	3,748	2,744	12,328	3,194	1,917	1,786	1,881	3,263	41,414
実績	区分	19年度	20年度	21年度	計									
	減免件数	265	293	313	871									
	減免額	597,750	624,600	641,650	1,864,000									

施設の妥当性	社会・経済情勢の変化等により、施設のニーズが薄れていないか？		
	<input checked="" type="radio"/> 薄れていない <input type="radio"/> 薄れている	判断理由	少子高齢化により利用者数は減少傾向にあったが、類似施設であった勤労青少年ホームがH20年度で廃止されたことにより、利用者の増加が見られ、施設利用の効率化が図られている。
	そもそも市が設置・運営すべき施設か？		
	<input type="radio"/> 設置すべきである <input checked="" type="radio"/> 必ずしも設置する必要はない	判断理由	指定管理者制度を導入し、備前市施設管理公社で運営している。
	施設を廃止した場合の市民生活への影響は？		
	<input checked="" type="radio"/> 影響が大きい <input type="radio"/> 影響はさほどない	判断理由	年間利用者が4万人を超えており、施設を廃止した場合は影響が大きい。

施設の効率性	施設の利用状況は順調か？		
	<input checked="" type="radio"/> 順調である <input type="radio"/> 順調でない	判断理由	施設利用者が4万人を超えており、1日開館当たり142.8人の利用者がある。
	受益者負担は適正か？(施設の性別に設定されている負担割合と比べてどうか)		
	<input type="radio"/> 適正である <input checked="" type="radio"/> 見直す余地がある <input type="radio"/> 受益者負担は求められない	判断理由	利用者一人当たりのコストは低く、減免利用者が約2割を占めていることから、減免規定と施設料を合わせて見直す必要がある。
	類似施設との統合可能性はあるか？		
	<input type="radio"/> 統合は可能 <input checked="" type="radio"/> 統合は不可能	判断理由	独立行政法人雇用・能力開発機構から平成16年1月に216万8250円で備前市が購入しており、用途使用については売買契約の特約事項により平成33年10月末まで変更が認められない。
	管理運営に係るコストを削減する余地はあるか？		
	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地はある <input type="radio"/> 削減の余地はほとんどない	判断理由	施設利用料が安く、減免適用の利用者が約2割を占めており、施設管理公社がいくら経営努力しても経費節減は限界に達している。

平成22年度の状況及び管理運営の改善案	平成21年度から勤労青少年を廃止したことにより、利用者の増加を見込んでいたが、逆に減少となってしまった。また、それと正反対で減免適用者が増加したため、管理運営は一層の厳しさを増している。このため、減免規定の見直しや施設使用料の改正を行う必要はあると思うが、他の市施設との整合性も考えながら進める必要がある。
---------------------	---

施設修繕・大規模改修費用(今後5年間:平成23年度から平成27年度)					
毎年経常的に必要な修繕費	内容	金額(千円)	今後5年間に必要となる大規模改修費	内容	金額(千円)

判定	<input type="checkbox"/> 廃止・閉鎖が可能 <input type="checkbox"/> 類似施設との統合が可能 <input type="checkbox"/> 民間又は地域等への譲渡が可能 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度の導入が可能 <input type="checkbox"/> 事務等一部委託が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 現在の管理運営形態が望ましい	判定理由	施設管理公社で指定管理を行っている。同様な施設に勤労者センターがあるが、統廃合については、独立行政法人雇用・能力開発機構との払い下げの特約があるため、平成33年10月末まで、現在の用途の変更は困難である。
----	---	------	--